

## TOPIC #01 2020年度「ライフイベントに関わる研究支援員制度」前期(第7期)募集のお知らせ

出産・育児・介護等のライフイベントと研究活動の両立を支援するための「ライフイベントに関わる研究支援員制度」の第7期募集を2020年1月下旬より開始いたします。この制度は、ライフイベント中

も研究を継続できるよう「研究支援員」の雇用経費を1期(6ヶ月)につき上限30万円まで助成するものです。

詳細はリサーチライフサポート室HPをご覧ください。

### 申請資格

#### ● 出産・育児

1. 妊娠している教員・研究者
  2. 小学校3年生\*以下の子を養育する教員・研究者のうち、下記のいずれかに該当する教員・研究者
    - (1) 配偶者が常態的にフルタイム相当で労働している
    - (2) 一人親で、日常的に養育を担っている
- ※但し、この健康状況など、特別な支援が必要な場合は小学校4~6年生の子について申請を可とする。

#### ● 介護

要介護状態(負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態)にある家族を介護する教員・研究者  
※要介護者の対象は配偶者、父母、子、配偶者の父母、祖父母、兄弟姉妹または孫とする。  
※産前・産後休暇、育児休業、介護休業およびその他休職をしている期間中は、本制度を利用することができない。

### 申請期間と助成期間

- 申請期間 2020年1月27日(月)~2020年2月28日(金)
- 助成期間 2020年4月1日(水)~2020年9月30日(水)

### 助成内容

- 申請者1人あたりの1期の助成金の上限は30万円とする。(交通費含む)
- 研究支援員は上限金額範囲内であれば複数名雇用ができる。
- 研究支援員の1期の雇用期間は最長6ヵ月とする。
- 研究支援は雇用を原則とするが、個人への業務委託も認める  
※外国語の翻訳・校正・校閲に限り、業者名への業務委託も認める

### 研究支援員の資格

当該研究課題の支援業務を遂行するために必要な専門知識又は技術を有する者



### 改善への意見

- 申請する金額による採用。
- 支給予定額が余った場合の次期への持越し。
- 支給金額の増額。
- 支援員雇用以外の費用(郵送費・交通費等)の支給。
- 申請資格の拡大。
- 学会へ子どもを同伴する際の旅費の一部支給。
- 教育へのサポート。
- ベビーシッターの利用補助。

## TOPIC #02 活動報告

### 研究者ロールモデル集「研究日和」Vol.4 —研究者からのメッセージを刊行しました

本大学の研究者のリーサーライフや研究者になった背景等のメッセージをご紹介します。研究の中身だけではなく、人柄についても触れていただける内容になっています。各リサーチオフィスや学部窓口を設置しています。

リーサーライフサポート室のHPからも見やすくなりました。 <http://www.ritsumeai.ac.jp/research/rsupport/interview/>



**Case #01** 自分と相手の両方を尊重する異文化間コミュニケーションを研究・実践する  
堀江未来 国際教育推進機構 教授、立命館小学校・中学校・高等学校 代表校長

**Case #02** 異文化に触れた経験を糧に異国の言語・文化を研究する  
カンダボダ パラパート プッティカ 国際教育推進機構 准教授

**Case #03** フィールドに赴き、地域と関り持続可能な地域づくりを考える  
小沢道紀 食マネジメント学部 准教授

**Case #04** 映画・ドラマの現場で経験したすべてが脚本家としての今に生きている  
谷慶子 映像学部 准教授

**Case #05** 「当たり前」に疑問を持つそれが研究の出発点  
菊盛真衣 経営学部 准教授

※職位は2019年取材時点

### ロールモデル集「研究日和」をお届けしました



[1]理工学部事務室にてインターンシップのため受け入れている日越大学女子留学生との「ランチ交流会」(10月21日@BKC) / [2]理工学部機械システム系女子学生交流会(11月5日@BKC) / 「立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム2019年度第2回セミナー」(11月8日@京都経済センター) / [3]若手研究者による「ライスボールセミナー」(11月25日@立命館高校)

### 「女性研究者の裾野拡大」の取り組み

女子生徒の進路選択支援学習会 —女子だって何にでもなれる—理工系・医学系・農業系の勉強、仕事とは？

●草津市、くさつ男女共同参画市民会議い〜ぶん 主催(7月6日@BKC)

[1]理工学部助教の荒木優希先生や先輩女子大学院生の協力のもと、小中高生がワークショップ [2]模擬薬局の見学ツアー [3]全員で思いを一言ずつ伝え合いました



### 日経ウーマノミクスフォーラム シンポジウム2019

●主催:日経ウーマノミクス・プロジェクト実行委員会(7月17日@ハービスホール)

[4]ブースで研究について紹介する古気候学研究センターの北場育子先生 [5]ミニセミナーでは、生命科学研究所の院生1名にご協力いただきました [6]体験コーナーでは情報理工学部・西浦先生のゼミ所属の院生3名にご協力を頂き、「指向性スピーカー」を設置致しました



## ワークライフバランス支援制度における ベビーシッター・ホームヘルパー利用補助について

従来からの変更点について  
お知らせ

仕事とライフイベントとの両立をサポートすることを目的として、業務の都合により臨時的保育サービスや介護サービスが必要になった場合の費用を補助します。

詳細は「教職員ポータルサイト」の「人事WEB」をご確認ください。

### ●お問い合わせ先

RU、附属校：人事部給与厚生課

外線 (075)813-8150

内線 510-2133

1. ベビーシッター・ホームヘルパー利用補助制度は、APUを含め全雇用種別が利用できます。
2. 病児保育について、利用時間が平日・土曜の8時～17時の間であっても、ベビーシッター利用補助の対象になります。
3. 有期雇用教職員の補助対象の業務は、祝日授業日の授業や入試採点業務など限定的であったものを、契約書や労働条件通知書で定める業務とし拡大します。
4. 申請書の書式が新しくなります。

## TIRA(研究活性度総合指標)に基づく、学部・研究科との 研究推進に関わる意見交換にて、「女性研究者支援や ライフイベントと研究との両立に関するヒアリング」を実施しました

各学部の皆様には、貴重な時間をいただき、率直なご意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。要望や制度改善について検討してまいります。

## 研究推進に関わる個別の問い合わせ・相談を受け付けています -リサーチライフサポート室へご連絡ください-

### これまでにいただいたご意見・要望

- 研究者の紹介
- 研究室の環境、秘書雇用
- 個人研究費執行
- 着任後の不安
- 休暇・休業取得
- 就労証明書発行
- 研究支援に関する要望
- 育児・介護等支援制度
- 子ども乗せ自転車 専用スペース設置



## 日経ウーマノミクスプロジェクト 「女性研究者キャリアカフェ」

日時 2020年1月17日(金) 12:20～13:50

会場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス  
ウエストウイング1F ピアラーニングスタジオ

講師 マイクロンメモリジャパン  
青砥なほみ氏

講演では、キャリアヒストリーや単身赴任中の育児家事分担について、製造業で働き、社会と繋がる意義などについてお話しいただきました。

学生には、物事の見方「何のために働くか」ということは人生のポイントで変わることもあるが、変化も受け止め、折に触れて自分と向き合うことが大切だとメッセージを送っていました。



## 今後の予定

### 研究者間ネットワークづくりの場「立命研究者の会」を開催します

研究、キャリア形成、子育て・介護などの支援に関する情報交換や、研究者間のネットワークづくりの場としてご活用いただけましたら幸いです。当室の運営委員の先生方も参加しますので、日頃感じておられる疑問や要望等ぜひお聞かせください。なお、昼食は各自ご持参お願いします。

申込不要、途中入室自由

会場 いずれもBKC・コアステーション2階 リサーチライフサポート室

日時

- 2020年2月 5日(水) [ゲスト教員]理工学部、情報理工学部
- 2020年2月12日(水) [ゲスト教員]薬学部、生命科学部
- 2020年2月19日(水) [ゲスト教員]情報理工学部

いずれも12:00～13:00

### Center for Inclusive Leadership 東京フォーラム “Inclusive Leadership: Key For Future Japan”(APU20周年記念)

日時 2020年2月7日(木) 19:00～21:00

会場 立命館東京キャンパス

登壇者

- 上野千鶴子  
東大名誉教授、元本大学特別招聘教授
- 松原洋子  
立命館副総長・副学長
- 出口治明  
立命館アジア太平洋大学(APU)学長

## 「全国ダイバーシティネットワーク」の取り組み

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))」では、国立大学法人大阪大学が幹事機関として統括しています。事例や課題の共有を図るため、全国を8ブロックに分け、地域の特性に応じた活動を展開しています。

今年度、本大学は近畿ブロックのとりまとめ幹事大学として、取組を行っています。

### 第1回近畿ブロック会議・セミナー(6月20日)

- 「人事に関わるポジティブ・アクション」
- 「ライフイベントとの両立に向けた研究環境整備」



奈良女子大学教授  
春本晃江先生



全国ダイバーシティネットワーク 実施責任者  
大阪大学理事・副学長 工藤真由美先生

### 2019年度近畿ブロック事業計画

- 1.近畿ブロック会議を年3回開催し、人事に係るポジティブアクション事例やライフイベント時における研究者支援等の有用な取組を共有するセミナー実施する。
- 2.私立総合大学が多く分布する近畿圏において参画機関の拡充を図る。
- 3.理工系女性研究者志望層の裾野拡大をテーマとしたシンポジウムを開催する。

### 第2回近畿ブロックセミナー(9月17日)

- 「女性研究者育成とスキルアップ支援」



立命館大学 キャリアアドバイザー・  
産総研名誉リサーチャー 相馬芳枝先生



大阪府立大学 女性研究者支援センター  
特認准教授 巽真理子先生

## 「理系女性研究者の裾野拡大と風土づくり」をテーマにシンポジウムを開催しました(11月21日@立命館大学大阪いばらキャンパス)



高等教育機関における女性活躍推進  
—教育・研究機関が果たす役割—

出口治明

- ・立命館アジア太平洋大学・学長
- ・学校法人立命館副総長・理事

「大学は社会の先行指標であり、大学こそが女性・ダイバーシティ・高学歴といったキーワードに基づくアクションを率先してやらなければならない」と述べました。

参加者からの質問と  
出口学長からの返答

Q 教育・研究機関として学生に対して果たす役割について

A 教職員がリスクを取って何事にも挑戦していく必要があります。学生にとって鏡の存在だと自覚して、自らがロールモデルになってください。

Q 今後の社会で女性が活躍できないとどうなるか

A 歴史を紐解くと、改革ができない組織は減るだけというシンプルな答えしかありません。ロールモデルがない中では、それまで生まれてこなかった存在や立場が浮上しないため、クォータ制など新たな起用の仕組みを導入することで新たな可能性が開かれます。

Q 工学系の女子学生が少ない中、どのように女子学生のモチベーションを駆り立てられるのか

A 楽しいことがこれからどんどん待っているということを大学でどのくらい教えられるか。次の世代を生み出していく中で、その価値を示していくことです。



SSHを通しての国際理系人材育成

堀江未来

- ・立命館小学校・中学校・高等学校  
代表校長
- ・国際教育推進機構・教授

第1期からのSSH校として国際理系人材育成に長年取り組むことで、自然と女子の比率が高まり、リーダーとしての活躍も多くみられるようになりました。

- 立命館高校は、SSH(スーパーサイエンス・ハイスクール)事業に2002年度からこれまで連続で指定されている数少ない高校の一つです。国際的に通用する理系人材の育成方法を開発・実践する中で、世界の人々のために貢献しようとする使命感や多様な人々と協働できる力の育成を重視してきました。
- SSHの中心的な取り組みであるJapan Super Science Fair(JSSF)を毎年開催しています。2019年度は、海外34校国内10校から生徒と教員を招聘し、5日間にわたって研究発表やワークショップなど、英語を使用言語としながら、文化の違いを乗り越えて共に学ぶ取り組みを行います。生徒による実行委員会が運営しており、そのリーダー的役割を、男女問わず自主的に担う生徒が増えてきました。
- 生徒に「理系分野に女子研究者を増やすには、どうしたらいいと思う?」と尋ねたところ、「…そもそも、なぜ男子・女子を分けて考えるんですか?なぜ理系・文系を分けるんですか?」との返答がありました。純粋な探究意識をもった生徒の学びにおいては、私たち大人世代の区別意識が弊害になってしまう可能性があることに気づかされました。



立命館大学 男女共同参画推進リサーチライフサポート室

お問い合わせ先  
[全キャンパス共通]

びわこ・くさつキャンパス  
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1  
TEL: 077-561-2631(内線: 515-6533, 515-6507)  
E-mail: rsupport@st.ritsumei.ac.jp [平日] 9:00-17:30

[www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/](http://www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/)

